



# 京大探偵団

## 福井謙一博士を追え!

探偵君(以下、探):うららかですね、先輩。

散歩に行きませんか?

先輩探偵(以下、先):だるいな。

探:すべてが気だるく思えてくるこの兆候……まさか先輩、五月病ですか?

先:かもしれん。そういうわけだから、代わりにこの依頼の調査に行ってきてくれ。頼んだぞ、俺は寝るから。

(寝室へ行ってしまおう先輩)

探:……まったく、何が「そういうわけ」なんだか。まあいいや。

で、依頼の内容は……「福井謙一さんという人について調べてください」か。福井謙一って、たしか京大出身のノーベル賞受賞者の1人だよな。よし、ちょっと調べてみようか。

### 「福井謙一記念研究センター」とは?

川端通沿い、カナート洛北のすぐ南にどんと構える建物、これが「福井謙一記念研究センター」である。このセンターは、福井博士のノーベル化学賞受賞を記念して造られた財団法人基礎化学研究所が、京都大学に寄附移管されたのを機に平成14年に発足したもので、「知の湧源」をテーマに理論化学と応用化学との融合を目指して研究を進めている。

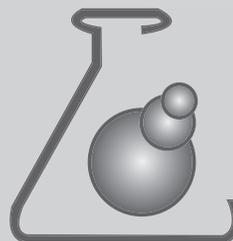


福井謙一記念研究センター。かなり立派な建物。

## 調査レポート

### ・経歴

1918年10月4日	奈良県に生まれる
1938年	旧制大阪高等学校卒
1941年3月	京都帝国大学工学部工業化学科卒
1943年8月	京都帝国大学工学部講師(燃料化学科)
1945年3月	京都帝国大学工学部助教授(燃料化学科)
1951年4月	京都大学教授に就任
1981年11月	文化勲章受賞
1981年12月	ノーベル化学賞受賞
1982年4月	京都大学退官
1998年1月9日	逝去



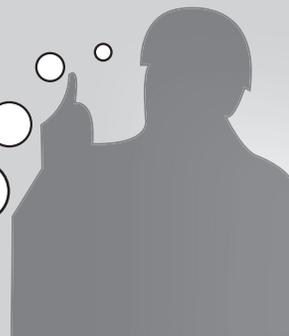
### ・主な研究成果

- 「フロンティア軌道理論」(1952年)
  - 「HOMO-LUMO相互作用の理論」(1964年)
  - 「化学反応の経路解析」(1970年)
- これらの功績により、ノーベル化学賞を受賞。

### ・エピソード

枕元には常にメモと鉛筆を置いておくほどのメモ魔であったらしい。

メモしなくても覚えているような思い付きはたいしたものではない。メモしないと忘れてしまうような着想こそが貴重なのです。



探:へえ、福井謙一さんってこんな研究をしていたのか。新発見、新発見。  
(寝起きの先輩が現れる)

先:おはようおはよう。あ~よく寝た、っと。よし、じゃあ仕事しようか!

探:……遅。もう終わりましたって。

はみだし  
すてーじ

この紙を見ると、反射的に投稿したくなってしまいます。  
⇒すばらしい! これであなかも立派ならいふすてーじ読者です。

(医・職 ROCK)  
(職員さんにも単位認定;編)